

西諸島の軍事基地化－沖縄戦はどう総括されているか？

2022年4月22日

新垣毅

1、沖縄戦の教訓

- ▽軍隊は住民を守らない、守るどころか殺しさえする
- ▽軍隊や軍事基地があることで「敵」標的になり、住民の犠牲が大きい

2、ロシアによるウクライナ侵攻から学ぶこと

- ▽世論操作／言論統制→結果とプロセスの検証可能性が危うい
- ▽注目集まる中国の対応
- ▽背景に軍縮協議の停滞と軍拡競争

3、世界的大転換－2019年8月2日

- ▽INF 廃棄条約の破棄－中距離弾道ミサイルとは
- ▽先島へのミサイル配備－攻撃型に転用可能
- ▽米軍の戦略（配備予算化）と中国包囲網

4、日米同盟の「国体化」

- ▽2016年施行の安保法制、国民の「負担」やむなし；沖縄、コロナ
- ▽延長戦としての敵基地攻撃能力論（共同の世論調査で賛成多数）、核共有論
- ▽専守防衛、平和憲法、非核三原則の逸脱

5、沖縄の「基地負担」の変容

- ▽沖縄戦の教訓、戦後の核兵器集中配備
- ▽平時と有事（どちらも増大、基地機能に注目）
- ▽日本の核検証能力について
- ▽変わる海兵隊の位置付け；高まる「重要性」

6、今後の課題＝緊張を緩和する緩衝地帯をどう築くか

- ▽原点に戻る；安全保障とは「隣国を大切にする」／「沖縄が一つになる」
- ▽「オール沖縄」「島ぐるみ運動」は再構築できるか
- ▽広島、長崎、反核団体との連帯。核禁止条約の参加、核先制不使用宣言を
- ▽植民地主義を終わらせ、沖縄の自己決定権を確立する